



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 下総(2補)隊舎新設等建築その他工 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 千葉県柏市藤ヶ谷1614番地1他 | 構造 | SRC造 |
| 用途地域 | 都市計画区域、市街化調整区域 | 平均居住人員 | 30人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | |
| 竣工年 | 2020年8月 予定 | 評価の実施日 | 2021年4月16日 |
| 敷地面積 | 2,619,014 m ² | 作成者 | (株)鴻池組 阿部 尚 |
| 建築面積 | 934.50 m ² | 確認日 | 2021年4月16日 |
| 延床面積 | 3,710 m ² | 確認者 | (株)鴻池組 阿部 尚 |



| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|--|---|----------------------|
| <p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> | <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | |
|--|---|--|
| <p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.0</p> | | |
| <p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p> | <p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8</p> |
| <p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p> | | |
| <p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p> | <p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0</p> | <p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p> |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|--|
| <p>総合</p> <p>寄宿舎での生活を考慮した熱負荷を抑える断熱性能、および将来の用途変更に対してゆとりのある建築計画とする</p> | <p>その他</p> <p>0</p> | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>室内の空気質に配慮した、内装材・換気量とする各居室において昼光率を高く設計した窓を導入し、光を採り入れる</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>更新必要間隔の長い内装材、および配管材を採用する階高にゆとりのある内装設計とする</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>0</p> |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>・外気温による熱負荷を抑えた断熱設計とする ・省エネルギーに配慮した設備を導入する</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水型衛生器具を採用し、水資源への配慮を図る ・解体時のリサイクルに配慮した内装設計とする</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>・省エネルギー性能の高い設備機器を採用することで、運用時のCO₂排出量を抑える ・渋滞緩和のためのゆとりある駐車場スペースとする</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

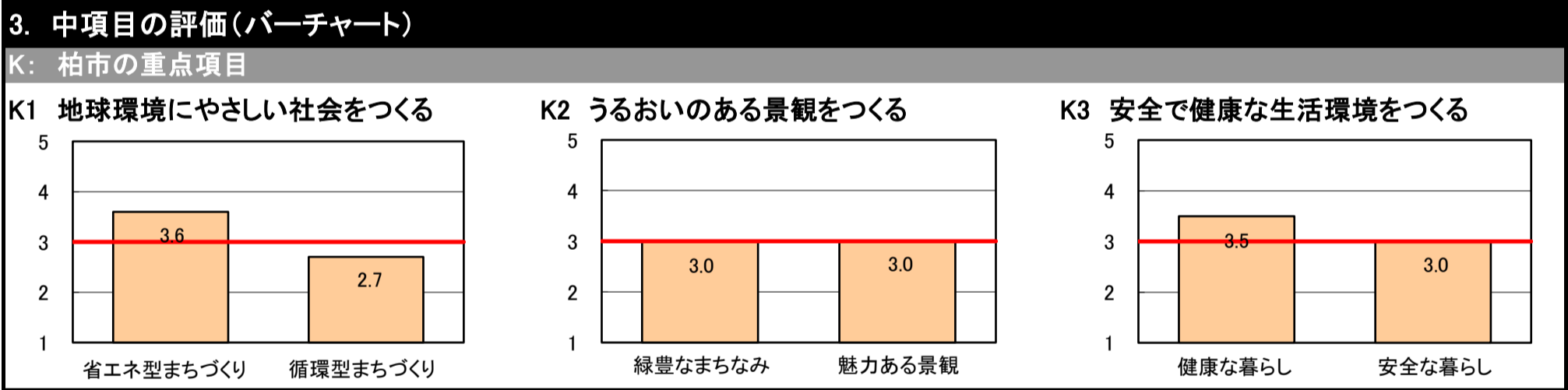


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1 建物概要 | | | |
|--------|--------------------|-------------------|----------|
| 建物名称 | 下総(2補)隊舎新設等建築その他工事 | 建築物の環境効率 (BEEランク) | B+ ★★★★★ |

| 2 重点項目への取組み度 | | | |
|---|----------------|----------|------------|
| 重点項目 | 取組み度 ※ (得点/満点) | 評価結果 | |
| K1 地球環境にやさしい社会をつくる | 3.1 / 5.0 | ふつう | |
| K2 うるおいのある景観をつくる | 3.0 / 5.0 | ふつう | |
| K3 安全で健康な生活環境をつくる | 3.2 / 5.0 | ふつう | |
| ※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例) | すばらしい 4点以上 | ふつう 3点以上 | がんばろう 3点未満 |



| 4. 設計上の配慮事項 | |
|---|---|
| <p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する 廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 省エネ型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 4.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.0 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 循環型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 2.8 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 2.0 |
| <p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する 緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 緑豊かなまちなみ <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 3.0 魅力ある景観 <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 - |
| <p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 4.0 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 安全な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 - |